



総務経済 常任委員会

長岡市・燕市の空き家対策事業を調査 関係団体の協力を得て対策に取り組む

委員長 渡邊 俊彦 委員 原 利幸
副委員長 月田 均 三友美恵子
宇津木治宣
石内國雄

所管事務調査日：平成30年10月3日～4日



長岡市の取り組みを聞く



このメンバーで調査しました



●長岡市の空き家対策

条例制定により空き家等の所有者に適正な管理を強く促すことで、空き家等が管理不全な状態になることを防止する。主な施策としては管理不全の空き家に対する措置、啓発活動、相談窓口設置、管理不全の空き家の把握等である。

- ・ 空き家等対策計画策定
- ・ 市内空き家等対策連携会議設置
- ・ 長岡市空き家等対策協議会設置
- ・ 空き家バンク事業

●燕市の空き家対策

条例の制定や不動産団体等と協定を締結することで、相談会の開催や空き家の除却、利活用を推進する事業を実施している。また、大学と連携したまちなか資源再発掘事業などで魅力あるまちづくりにも力を入れている。

- ・ 全棟調査及び追跡調査
- ・ 空き家・空き地活用バンク
- ・ 解体費助成（特定空き家対象）
- ・ 改修費、家財道具処分費助成

まとめ

全国的に空き家が増加する中、空き家対策事業に早くから取り組む長岡市と燕市を視察した。両市とも条例の制定等を行い、所有者に適正な管理を強く促すとともに、関係団体との協定締結や総合相談窓口設置など市全体で取り組んでいる。また、各種補助金制度の設立や空き家情報のデータベース化、ホームページ等での情報発信など多くの活用実績を上げている。玉村町においても、空き家対策事業を進めるに当たり先進自治体の情報把握に努め、しっかりと計画・条例を策定するよう期待する。



民生文教 常任委員会

南アルプス市の健康リーグ事業を視察 町全体で健康寿命を延ばすための取り組みを

委員長 柳沢 浩一 委員 小林 一幸
副委員長 新井 賢次 備前島久仁子
浅見 武志
石川 眞男

所管事務調査日：平成30年11月7日



熱意のこもった説明を聞く



このメンバーで研修しました



●南アルプス市について

山梨県は長野県とともに健康寿命の長い県として知られている。その中でも南アルプス市は、山梨県内で唯一、健康からのまちづくりを推進する全国組織である「スマートウエルネスシティ」に加盟し、市民の健康増進に取り組んでいる。

玉村町でも健康寿命延伸施策にどう力を入れて行くかが課題であり、南アルプス市を視察した。

●健康リーグ事業について

南アルプス市では、医療費が増加し続けていることをきっかけに、健康リーグ事業を開始した。

健康リーグ事業は、市内の商店等で使える健康ポイントの付与や愛育会員による健康情報の声かけ・拡散など、行政・企業・団体等の枠を超え、市民に自らの健康状態を知ってもらうことで、健康寿命の延伸につながるようという事業である。

まとめ

高齢化に伴う医療費の増加はこの自治体でも深刻な課題であるが、南アルプス市の取り組みには多く学ぶものがある。国保特定健診の受診率は全国平均が36.6%であり、玉村町では40.4%であるが、南アルプス市は54.2%と驚くべき数字を上げている。健康寿命を延ばすためには、まずは市民に自らの健康状態を知ってもらうことが大切であり、そのために、行政だけではなく市全体で事業を実施するというこの取り組みは、ぜひ、玉村町でも参考にしたい。